

啓発活動重点目標（人権啓発キャッチコピー）

「誰か」のことがじやない。

誰にも心を許してはならない。



間宮祥太郎

石井杏奈 矢本悠馬

高橋和也 小林綾子 七瀬公 ウーイエイよしたか 大東駿介

竹中直人・本田博太郎・田中要次

石橋蓮司 眞島秀和

原作・島崎藤村「破戒」

監督・前田和男 脚本・加藤正人 木田紀生 音楽・かみむら周平

企画・製作・全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

制作・東映 制作協力・東映ビデオ 制作プロダクション・東映京都撮影所

© 2020 全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

島崎藤村、不朽の名作「破戒」を

60年ぶりに映画化。

© 全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

法務省委託事業 人権啓発映画会(日本語字幕入り)

回と き 12月10日(日)9:30開場 10:00開演 12:40終了予定

回ところ 野々市市文化会館フォルテ 大ホール

※当日は、市内の障害者施設で作られた商品の販売を行います。

お問い合わせ先 ☎ 227-6040 FAX 227-6259(野々市市地域政策部市民協働課)

入場
無料

主催/野々市市・野々市市教育委員会

共催/石川県人権啓発活動ネットワーク協議会

後援/野々市市社会福祉協議会・野々市市民生委員児童委員協議会

協力/社会福祉法人富明会 けやき野苑・

社会福祉法人あおぞら福祉会 フォルムののシティ



島崎藤村、不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化

1948年・木下恵介監督、1962年・市川崑監督と名だたる巨匠が映画化してきました、島崎藤村・不朽の名作「破戒」。

2022年、60年ぶりに『破戒』が映画化。主演を務めるのは、近年、映画『東京リベンジャーズ』やTVドラマ「ファイトソング」「ナンバMG5」に出演するなど、多彩な活躍が目覚ましい若手俳優・間宮祥太郎。自らの出自に苦悩しつつも、最後にはある告白をする主人公・丑松という難役に挑戦し、気迫のこもった演技で観る者を惹きつけます。

この戒めを破り、明日を生きる―

瀬川丑松（間宮祥太郎）は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保（石井杏奈）との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助（矢本悠馬）の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。

苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎（眞島秀和）に傾倒していく。

猪子宛に手紙を書いたところ、思いがけず猪子と対面する機会を得るが、丑松は猪子にすら、自分の出自を告白することができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれる。

丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。

この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立とうとする。